



# MX-Fluxbox ドキュメント

2021.09.28

## 目次を見る

|       |                   |    |
|-------|-------------------|----|
| ..... | 1.はじめに            | 1  |
| ..... | 2.初期設定            | 1  |
| ..... | 2.1 デスクトップアイコン    | 2  |
| ..... | 2.2 Conky         | 3  |
| ..... | 2.3 tint2 パネル     | 4  |
| ..... | 2.4 Docks         | 5  |
| ..... | 2.5 ルートメニュー       | 5  |
| ..... | 3.FLUXBOX のセットアップ | 6  |
| ..... | 6.リンクス            | 12 |

## 1.はじめに

このヘルプドキュメントは、MX Linux の一般的なトピックを網羅した「ユーザーズマニュアル」(Shift+F1)を補完するものです。

- 1.はじめに
- 2.設置方法
- 3.構成
- 4.基本的な使い方
- 5.ソフトウェア管理
- 6.上級者向け
- 7.フードの下
- 8.用語集

MX FLUXBOX(=MXFB)は、MX Linux の最小版または「ベース」版であり、すぐに使用することができます。ユーザーは一般的なソフトウェアを追加したいと思うでしょうが、その場合はまず MX Package Installer (デスクトップの "Software" アイコン) を使用することをお勧めします。

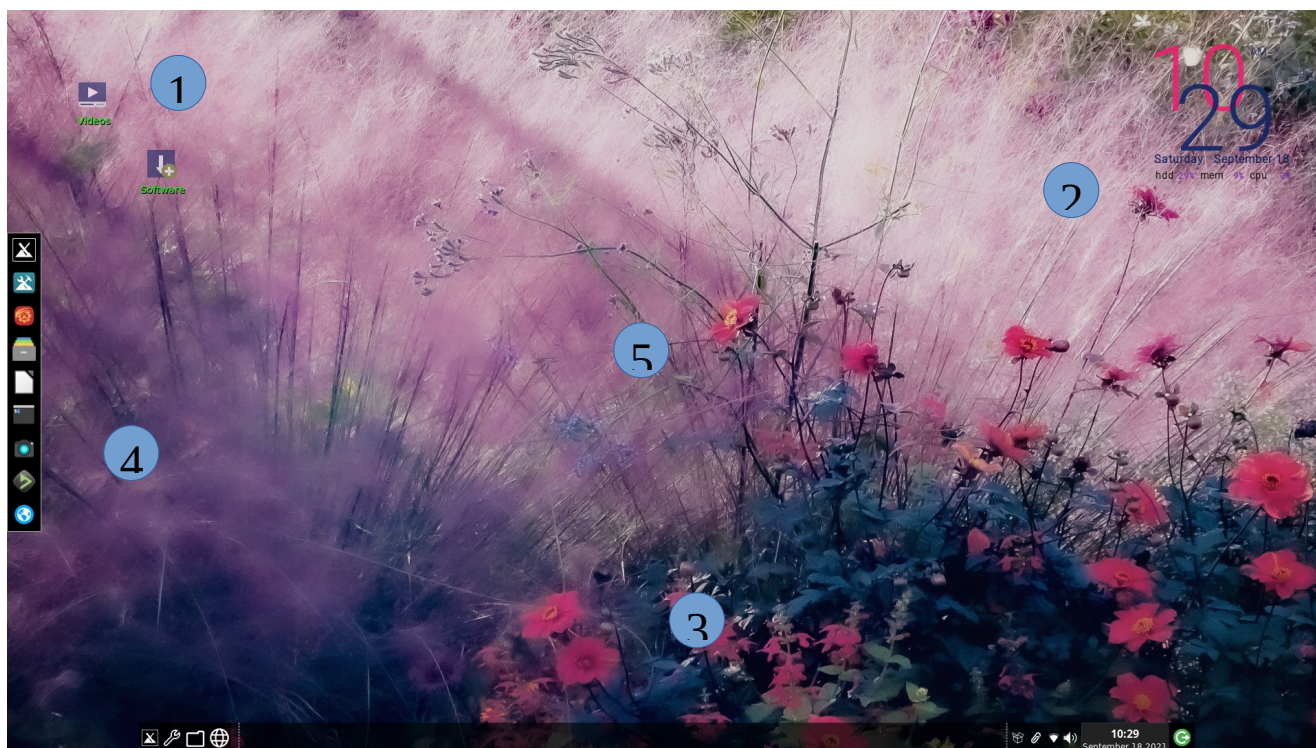
その名の通り、MXFB はウィンドウの配置や外観をコントロールする[ウィンドウマネージャー](#)として [Fluxbox](#) を採用しています。 その小さなメモリーフットプリントと素早いロー

ドタイムは、低リソースのシステムでは非常に効果的であり、高レベルのマシンでは非常に高速です。すべての基本的な設定は、わかりやすいフォーマットの[テキストファイル](#)で制御されます。

MXFB は基本的に 2 つの構成で動作しますが、その間にも様々なバリエーションが考えられます。

- デフォルトでは、基本的な Fluxbox コンポーネントが含まれていますが、便利なグラフィカル・アプリを使用するという MX Linux の好みに従っています。
- FLUXBOX には、デフォルトの構成から様々なコンポーネントをワンクリックで追加することができます。

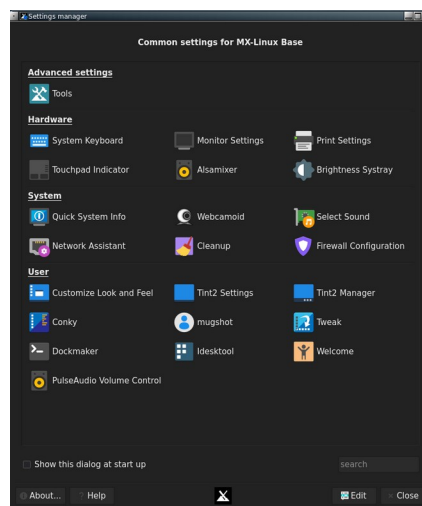
## 2.デフォルト



左上から時計回りに、プリンシパルの構成要素を紹介します。

1. デスクトップアイコン (2.1 項)
2. コンキー」と呼ばれるシステム情報表示 (2.2 項)
3. クリエイティブな tint2 パネル (2.3 項)
4. ネイティブ・ドック (2.4 項)
5. 隠れた Fluxbox の "rootMenu" (セクション 2.5)

新規ユーザーが最初に利用するのは、ドック、パネル、ルートメニューから利用できる「設定」マネージャーでしょう。アプリケーションは、デスクトップアイコンやドックアイテムのほかに、以下のようなツールでも起動できます。



- 従来のパネルのスタート（MX ロゴ）ボタンをクリックすると、Xfce の Appfinder が表示されます。
- デスクトップを右クリックします。メニュー → 「すべてのアプリ」で、Debian ライクなカテゴリメニューが表示されます。
- キーボードのロゴキー（Windows または Apple のアイコン）をクリックすると、「rofi」という非常に高速なツールが表示され、便利なプロパティを備えたアルファベット順のメニューが表示されます（詳細は [Wiki を参照](#)）。
- Ctrl+F2 をクリックして、実際のプログラム名を表示する小さな実行ウィンドウ（fbrun）を表示します。

以下のセクションでは、これらの各コンポーネントの使用方法和管理方法について、基本的な理解を深めていただきます。注：以下のセクションでの「メニュー」という言葉は、デスクトップ上で右クリックしたときに表示されるルートメニューを指します。

## 2.1 デスクトップアイコン

隠す。メニュー → 「見えないところ」 → 「アイコンを切り替える  
 削除（アイコン）：アイコンを中クリックすると iDesktool が起動します。  
 停止：メニュー > 目立たない場所 > iDesk の切り替え  
 管理する。メニュー > 外観 > デスクトップアイコン  
 ヘルプ： [ウィキで](#)

MXFB のデスクトップアイコンは、2005 年に開発された iDesk によって実現されています。iDesk は、fluxbox などのミニマムウィンドウマネージャのユーザー向けにデスクトップアイコンを描くために開発されたプログラムです。アイコンは手動で設定することもできますが、グラフィカルなツールの方がはるかに簡単です。MX Linux の開発者とユーザーは、既存のツールを改良、近代化、拡張して iDesktool を作りました。メニュー > 外観 > デスクトップアイコン。

このツールは、MX-Fluxbox でのデスクトップアイコンの使用を非常に容易にします。非常にわかりやすいので、使い方についての質問はほとんどないでしょう。

ここでは、デフォルトの「ビデオ」アイコンを例に、デスクトップアイコン（`~/iDesktoprc` で設定）の基本的なマウス操作を紹介します。

| アクション | マウス                  | 例                             |
|-------|----------------------|-------------------------------|
| 実行    | 左シングルクリック            | MXFB の YouTube チャンネルにオープン     |
| 実行する  | 右シングルクリック            | アクションメニューを開く                  |
| 管理    | 中段（スクロールボタン）シングルクリック | アイコンにフォーカスした iDesktool を開きます。 |
| ドラッグ  | 左クリックでホールド、離すとストップ   |                               |

## 2.2 コンキー

隠す。メニュー > Out of sight > Toggle conky

削除 (コンキー)。メニュー > 外観 > コンキー

停止: メニュー > 視界に入らない場所 > トグルコンキー

管理するメニュー > 外観 > コンキー

ヘルプ: Wiki で [MX コンキー](#)、[コンキーマネージャー](#)

MX-Fluxbox のユーザーは、メニュー > アピアランス > Conky をクリックすると、MX Conky が表示され、そこから Conky Manager を起動したり、他のメニューを使って、MX Linux のデフォルトの Conky セットを利用することができます。Conky Manager は、基本的な管理を行う便利な方法ですが、MX Conky は、色の操作など、MX Linux 特有の高度な機能を提供します。

Conky Manager では、以下の簡単な手順で、コンキーの編集、表示、表示を行うことができます。

- 各コンキーをハイライトしてプレビューを押すと、どのように見えるか確認できます。次の作業に移る前に、必ず各プレビューを閉じてください。
- 設定アイコン (歯車) をクリックすると、位置情報などの基本的なプロパティを変更できます。
- 使用したいコンキーにチェックを入れてください。自動でインストールされます。
- 設定ファイルは、`~/.conky/` というフォルダの中に、個々のテーマファイルとして格納されています。簡単ではありませんが、リストの中の conky をハイライトして、編集アイコン (鉛筆) をクリックすることで、編集することができます。

より複雑なコンキータの場合は、コンポジターを使用する必要があります。メニュー → 「設定」 → 「コンフィグ」 → 「スタートアップ」をクリックし、コンポジターに関する行のコメントを外して、以下のようにします。

## 2.3 tint2 パネル

隠す。メニュー → 「見えないところ」 → 「パネルの自動非表示を切り替える

削除します。Manual: `~/.config/tint2/` から設定を削除します。

Stop: Manual: "startup" ファイルの行の前にコメント(#)を付ける

管理する。設定マネージャー > Tint2 マネージャー (ドックとパネルのアイコン

ヘルプ: [ウィキで](#)

オリジナルの Fluxbox ツールバーは、現在のユーザーが期待する機能やデザインとは大きく異なっています。(メニュー > アピアランス > ツールバー > Fluxbox | Traditional (伝統的) > Fluxbox | Traditional (伝統的) そのため、MX-Fluxbox 2.2 では、"tint2" と呼ばれる高度な設定が可能なアプリを使って、代替りの "トラディショナル" ツールバーが追加されました。

パネルを変更するには、「スタート」ボタンの横にあるレンチアイコン、ドックの歯車アイコン、またはメニューのリストをクリックします。これにより、設定マネージャーが起動し、"Tint2 manager" をクリックすることができます。



画面には、~/config/tint2/にあるすべての tint2 の設定が表示されます。MXFB は、非常に異なる設定の小さなセットを提供しているので、それを試してみることができます。

既存のコンフィグを選択するだけでなく、パネルの要素を変更することもでき、これは tint2 の大きな楽しみの一つです。コンフィグ "または "エディット "ボタンをクリックすると、グラフィックまたはダイレクトに編集することができます。

グラフィカル・エディターには2つのアプリケーションがあります。

- "Themes "には、ユーザーのロケーションにあるすべての tint2 のコンフィグと、インストール中に持ち込まれたいくつかのコンフィグが表示されます。
- "Properties "は、実行中のコンフィグの機能を表示します。プロパティ "ウィンドウが表示されていない場合は、左上の小さな歯車のアイコンをクリックしてください。

ここでは、「プロパティ」ウィンドウでの一般的なアクションをご紹介します。

- ランチャーを追加 / 削除する。左側の「ランチャー」の項目をクリックします。右側のパネルには2つの列があり、左側には現在ツールバーに表示されているアプリケーションのアイコンが、右側にはインストールされているすべてのデスクトップアプリケーションのリストが表示されます。矢印を使って項目を上下に移動します。
  - 追加: 右カラムのリストから必要なアプリケーションを選択し、中央の「左矢印」アイコンをクリックしてから「適用」ボタンをクリックすると、即座にツールバーに追加されます。
  - 取り外し: 手順を逆にしてください。
- パネルの移動やサイズ変更を行う。左パネルの「パネル」の項目をクリックし、右パネルでその配置とサイズを選択します。適用 "ボタンをクリックします。ここで、下にスクロールして、必要に応じて「自動非表示」ボックスをチェックすることもできます。
- 時刻/日付のフォーマットに変更する。左パネルの "Clock "をクリックし、"First line format "または "Second line format "をお好みの形式に変更します。例えば、24 時間表示にするには、「%I」を「%H」に変更します。[Wiki](#) のコード。

**注意:** 現在の設定を変更する前に、バックアップを取ってください。~/config/tint2/tint2rc をクリックして、"tint2rc\_BAK "などの新しい名前で保存してください。バックアップファイルからカスタマイズしたすべての行を、新しい tint2rc 設定の適切な場所にコピーすることができます。

## 2.4 ドック

隠す。メニュー」→「見えないところ」→「ドックの自動非表示を切り替える  
削除 / 追加 (Dock アイテム) を行います。メニュー > 外観 > ドックメーカー  
停止 (デフォルトドック)。メニュー > Out of sight > デフォルトドックの停止  
管理するメニュー > 外観 > ドックメーカー  
ヘルプ: [ウィキ](#)で

外部のドックは、しばしば Fluxbox では簡単には動作しません。しかし、MXFB には Dockmaker というネイティブアプリがあり、ユーザーは簡単にドックを作成、変更、管理す

ることができます。ユーザーが初めてログインすると、デスクトップに縦型のドックが表示されます。その設定は`~/fluxbox/scripts/DefaultDock.mxdk`で行います。

注: Tint2 をドックとして使用することもでき、Tint2 manager でいくつかの例を見ることができます。

## 2.5 ルートメニュー

**Hide:** デフォルトでは常に非表示

**Remove/Add (メニュー項目の削除)** です。メニュー → 「設定」 →

「Configure」 → 「Menus

**ストップ:** `init` ファイルの中の「#」で始まる行の前にコメント(＃)を入れます。

`session.menuFile:`

**管理するメニュー** → 「設定」 → 「Configure」 → 「Menus

**ヘルプ** セクション 3 とリンク

`rootMenu` は、読みやすく、編集しやすく、機能しやすくするために、4つの独立したユニットで構成されています。短いメインメニュー(`~/fluxbox/menu-mx`)には、`~/fluxbox/submenus`にある3つのサブメニュー(Appearance, Settings, Out of sight)が組み込まれています。

その他の Fluxbox のコンポーネントについては、次のセクション 3 で詳しく説明します。

- トップ
  - All apps: Debian のようなカテゴリメニューです。パッケージインストーラーを使用している場合は自動的に更新されますが、そうでない場合必要に応じて更新をクリックしてください。
  - Recent files: 最新の使用ファイルが表示されます (必要に応じて Refresh をクリックしてください)。
- 中: いくつかの一般的なアプリ
- ボトム
  - 外観
    - コンキー
    - ドック
    - デスクトップアイコン
    - モニター: 小型システムモニター
    - スタイル: ウィンドウ、ツールバー、メニューの装飾
    - テーマ
    - toolbar: ツールバーとパネルの選択
    - 壁紙: 回転、ワークスペースごとに分離、選択

- 設定
  - バックアップ
  - configure: メニュー、スタートアップなどの Fluxbox ファイル。
  - ディスプレイ: ディスプレイのパラメータ変更、保存方法のヘルプ
  - キーボード: 11 種類の言語に素早く変更可能
- Out of sight: 要素を隠すための便利なコマンド集
- 残す。
  - refresh: ログアウトしていない場合、設定ファイルの変更後に使用される
  - サスペンド
  - ログアウト
  - リブート
  - シャットダウン

その内容、パワー、スピード、柔軟性を理解していただくために、初めての方にはこのメニューを使っていただくのがよいでしょう。特に魅力的なのは、これらのメニューが見やすく、完全にユーザーのコントロール下にあるということです。

### 3.フラックスボックス

このセクションでは、従来の Fluxbox のセットアップを行いたいユーザーを対象としています。

#### 何から始めればいいのか？

従来の Fluxbox のセットアップを復元するのはとても簡単です。デスクトップ上の任意の場所を右クリックすると、デスクトップメニュー(rootMenu)が表示され、使用することができます。次のような変更が指先でできます。

- 設定 > ツールバー > Fluxbox: 従来の ( tint2 ) パネルが消え、画面上部に Fluxbox ツールバーが表示されます。
- 視界外 > キルドック\*。
- 視界の外 > キルコンキスタッチ
- 視界の外 > iDesk とアイコン\*を切り替える

\*永続的な変更のためには、ファイル「設定」→「構成」→「スタートアップ」の該当行をコメントアウト( # ) して、以下のようにしてください。

```
#$HOME/.fluxbox/scripts/DefaultDock.mxdk
#$HOME/.fluxbox/scripts/conkystart
#iDesktopToggle idesk on 1>/dev/null 2>&1 &
```

それでは、変更されたデスクトップをどのように理解し、使用するかを説明します。



## 上にあるツールバーは何ですか？

この fluxbox ツールバーは、MX ユーザーにワークスペース、開いているアプリケーション、システムトレイ、および現在の時刻に関する情報を提供します。幅や配置は、ツールバーの時計やページャーを中クリック（＝スクロールホイール）して得られるオプションで設定できます。何らかの理由で動作しない場合は、「メニュー」→「設定」→「ウィンドウ、スリット、ツールバー」→「ツールバー」をクリックしてください。高さは `~/fluxbox/init/` で設定します。

```
session.screen0.toolbar.height: 0
```

ゼロがある場合は、選択したスタイルで高さを設定することを意味します。それ以外の場合は、20 から 25 の値が快適であることが多いです。

ツールバーには、以下のデフォルトコンポーネントが含まれています（左から右）。

### ポケットベル

- ワークスペースを上（右クリック）または下（左クリック）に切り替えることができます。Control + F1/F2/など、Ctrl-Alt + ←/→、またはデスクトップの何も無い部分でスクロールホイールを使用するのと同じです。番号と名前は `~/fluxbox/init` で設定します。"W"は "Workspace" の略です。デフォルトでは使用されていません。

### アイコンバー

- 開いているアプリにはアイコンが表示され、関連するアイコン（ツールバー自体も含む）を右クリック＞アイコンバーモードで様々なウィンドウオプションを利用できます。MX-Fluxbox のデフォルトは、「すべてのウィンドウ」です。

### systemtray AKA systray

- Xfce の通知領域に相当します。デフォルトのコンポーネントは `~/fluxbox/init` に設定され、systemtray オプションを持つアプリは起動時にそこに表示されます。

### クロック

- 時計を 12h または 24h に合わせるには、右クリックして「12h」または「24h」のどちらか表示されている方をクリックします。うまくいかない場合は、"Edit clock format" を選択してください。
- 24h: %H:%M, 12h: %I:%M.
- デフォルトでは 12 時間制で、日付は日/短月形式: %I:%M %b %d です。他の多くの時間/日付オプションは、[ウィキ](#)にあります。

`~/fluxbox/init/`にあるツールバーコンポーネントは、デフォルトでこのように設定されているので、移動や削除が可能です。

ワークスペース名、アイコンバー、システムトレイ、時計



## ツールバーを Windows のようなレガシーシステムに近づけるにはどうしたらいいですか？

メニュー」→「外観」→「ツールバー」→「トラディショナル ( tint2 使用 ) 」をクリックします。

## デスクトップの不要なアイテムを処分するにはどうしたらいいですか？

メニュー > アウトオブザサイト > ...

このエントリーには

- プログラム全体を停止させる実際のキルエントリーです。次回のログイン時には、スタートアップファイルで有効になっていたものが、デフォルトのドックを除いて再び表示されますが、これは無効になります。
- デフォルトのドックを削除するためのディセーブル・エントリーです。
- プログラムを終了させたり、再起動させたりできるトグルエントリー。

## メニュー項目を変更・追加するにはどうすればいいですか？

メニュー」→「設定」→「構成」→「メニュー」と進みます。構文は次のとおりです。[カテゴリ] (名前) {コマンド} - 大括弧、小括弧、中括弧を正しく使用してください。

例 1: 「ミュージック」を DeaDBeeF ではなく Clementine を開くように変更する

- Music」の文字がある行を探す ( 必要に応じて Ctrl+F を使用する  
(音楽) {deadbeef} [exec] (音楽)
- コマンド部分の "deadbeef " という単語をダブルクリックしてハイライトさせ、"clementine " と入力して保存すると、このような結果になります。

(exec) (音楽) {clementine}。

- メニュー」→「残す」→「更新」をクリックすると、新しい設定が使用されます。

例 2: メニューに Skype を追加する

- この例では、「Communicate」という新しいカテゴリーを共通アプリのセクションに追加したいと仮定し、そこに入力します。
- サブメニューのコマンド ( 下記参照 ) を使ってカテゴリーを作成し、新しい行を導入して、パターンに従ってください。[exec] (メニュー項目) {command}.
- 結果は以下のようになります。

[サブメニュー] (Communicate)

[exec] (Skype) {skypeforlinux} を使用しています。

[終了]

- メニュー > リーブ > リフレッシュ

必要に応じてアプリケーションファインダー（F6）を開き、対象となるエントリを右クリックして「編集」を選択し、メニューの正しいフルコマンドをコピーしてください。

## その他、ウィンドウについて知っておくべきことはありますか？

- サイズ変更変更したい角の近くで Alt+右クリックしてドラッグします。
- 移動：Alt+左クリックしてドラッグ
- スティック：左上の小さな四角を使って、ウィンドウを現在のデスクトップに限定します。
- オプション：ウィンドウの上部にあるツールバーを右クリックします。特に価値があるのは、サイズと場所を記憶するように選択する機能です（`~/.fluxbox/apps` に記録）。
- タブ機能：あるウィンドウのタイトルバーを Ctrl キーを押しながらクリックし、別のウィンドウにドラッグ&ドロップするだけで、複数のウィンドウを上部にタブがある1つのウィンドウにまとめることができます。再び分離するときは逆の手順で行います。

## メニューにスタイルが表示されていますが、これは何ですか？

スタイルとは、ウィンドウやツールバー、メニューなどの外観をどのように作るかを fluxbox に伝えるシンプルなテキストファイルです。Fluxbox は `/usr/share/fluxbox/styles/` に多くのスタイルを同梱しており、Menu > Look > Style で表示されます。また、"fluxbox styles" で検索すると、より多くのスタイルを見つけることができます。

スタイルには背景画像を含めることができますが、MX-Fluxbox では、メニュー > 設定 > 構成 > オーバーレイのトップラインでデフォルトでブロックされています。スタイルが背景を決定できるようにするには、ラインの前にハッシュマークを置いて、次のようにします。

```
!次の行は、スタイルが背景を設定するのを防ぎます。  
#バックグラウンド: なし
```

あるスタイルを気に入ったが、特定の特徴を変更したい場合は、そのスタイルを `~/.fluxbox/styles` にコピーし、名前を変更してから変更してください（下記の「リンク」にある Ubuntu スタイルガイドを参照してください）。このフォルダには、MX で使用するために変更されたいくつかの fluxbox スタイルが含まれています。

## テーマとはどのようなもので、どのように管理すればよいのでしょうか？

MX-Fluxbox にはいくつかのテーマがデフォルトでインストールされていますが、その他のテーマはウェブで検索すると見つかります。GTK テーマは、パネルの色、ウィンドウやタブの背景、アプリケーションがアクティブなときと非アクティブなときの見え方、ボタンやチェックボックスなどの項目を制御します。テーマには、非常に暗いものから明るいものまであります。

MX-Fluxbox のデフォルトテーマは「MX-Comfort」です。このテーマは、デスクトップ上で右クリックし、メニュー > 外観 > テーマを表示することで変更できます。テーマ、アイコン、フォントなどのセレクトが表示され、他の可能性を簡単に確認、選択することができます。

## 一部の文章が読めないのですが、なんとかありませんか？

テーマセレクトを使って、テーマやスタイルで使われるフォントを調整することができます。MX-Fluxbox のデフォルトは Sans 11 です。~/fluxbox/overlay ファイルを使用して、より詳細な制御が可能です。例えば、テキストを全体的に大きくするために、次のようなコマンドを試してみることができます。

```
# fonts-----
menu.frame.font:PT Sans-12:regular
メニュー.タイトル.フォント:PT Sans-12:regular
ツールバー.時計.フォント:PT Sans-11:regular
ツールバー.ワークスペース.フォント:PT Sans-11:regular
toolbar.iconbar.focused.font:PT Sans-11:regular
toolbar.iconbar.unfocused.font:PT Sans-11:regular
window.font:Lato-9
```

その他のフォントオプションについては、このドキュメントの最後にあるリンクを参照してください。

## 壁紙の変更は可能ですか？

まず、オーバーレイファイルが背景を決定するスタイルをブロックしていることを確認してください。次に、「メニュー」→「外観」→「壁紙」→「選択」をクリックすると、利用可能な選択肢が表示されます。名前が "mxfb-" で始まる壁紙には、MX-Fluxbox のロゴが入っています。メニュー項目からポップアップするリストには、ユーザー背景 (~/fluxbox/backgrounds) とシステム背景 (/usr/share/backgrounds) があり、水平線で区切られています。この設定により、ユーザーフォルダに背景を追加した後、メニューから選択できるようになります。

## どのような端末がありますか？

- Ctrl+F4 (またはメニュー > ターミナル) = ドロップダウン Xfce4-terminal
- メニューまたは Ctrl+F2: roxterm

## 独自のキーストロークの組み合わせを使用できますか？

はい。多くのキーは、メニュー > 設定 > 設定 > キーにデフォルトで表示されています。いくつかのキーの名前は少しわかりにくいです。

- Mod1 = Alt
- Mod4 = ロゴキー (Windows, Apple)

More: <http://fluxbox.sourceforge.net/docbook/en/html/c296.html>

MX-Fluxbox には専用のファンクションキーの組み合わせがあります (変更するにはキーファイルの上部を参照してください)。

- Ctrl+F1 を使用しています。MX-Fluxbox ドキュメント
- Ctrl+F2: クイックアプリランナー "[rofi](#)" でコマンドを実行する
- Ctrl+F3: ファイルマネージャー
- Ctrl+F4: ドロップダウンターミナル
- vF5: MX ツール

ファンクションキーだけでは、アプリの使用と競合しないようにプログラムされていません。

## どのようなスクリーンオプションがありますか？

- 明るさについて設定マネージャー > ツール > 明るさのシストレ

- Capture: ドックにある専用のアイコンが mxfb-quickshot を実行します。Print Screen (別名 Print、PrtSc など) キーがあれば、それも使えるはずです。

## スリットについての記事を読みましたが、それは何ですか？

スリットは元々、[dockapps](#) のコンテナとして考えられていましたが、MXFB では主に dock に使用されています。デスクトップ上の様々な場所に設置することができます。

- 左上、中央上、右上
- 左センター、右センター
- 左下、中央下、右下

このターミナルコマンドで、dockapps のデフォルトレポを検索することができます。

```
apt-cache search dockapp
```

レポにある多くのものは、うまく動作しないかもしれませんが、見てみる価値はあります。

apt-cache で検索しても出てこない、非常に興味深くて便利な dockapp が、MX-Fluxbox にデフォルトでインストールされているモニタースタック [gkrellm](#) です。メニュー > システム > モニターをクリックすると利用でき、多くの設定オプション (トップラベルやチャートの 1 つを右クリック)、[多くのスキン](#)、[多くのプラグイン](#) があります。いくつかのスキンはデフォルトでインストールされており、Shift-PageUp をクリックすることで確認・選択することができます。

## 6. リンク

man ファイル ( ターミナルまたは <https://linux.die.net/man/> ) 。

- フラックスボックス
- fluxbox-keys
- fbrun
- フラックススタイル
- fluxbox-remote

<http://fluxbox.sourceforge.net/docbook/en/pdf/fluxbook.pdf>

基本的なハンドブック、やや古いがまだ使える

<https://bbs.archlinux.org/viewtopic.php?id=77729>

例を挙げての一般的な説明が良い

<https://wiki.archlinux.org/index.php/Fluxbox>

いくつかのコマンドは Arch 特有のものです。

<https://wiki.ubuntu.com/HowToFluxboxStyles>

フラックスボックスキーに関する優れたスレッド

<https://wiki.debian.org/FluxBox>

<https://wiki.debian.org/FluxboxIcon>

ウィンドウのタブ化。

<https://github.com/jerry3904/mx-fluxbox>

MX-Fluxbox の GitHub レポ

<https://mxlinux.org/wiki/help-files/help-mx-fluxbox/>

MX-Fluxbox の Wiki エントリ

<https://bit.ly/2Sm1PJl>

YouTubeMX-FLUXBOX